

**製品名: RNA ポリメラーゼ I/II/III サブユニット ABC1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe02457**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 25 kDa; Observed MW: 25 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	POLR2E
別名	RPB5; XAP4; RPABC1; hRPB25; hsRPB5
遺伝子 ID	5434
SwissProt ID	P19388
免疫原	ヒト POLR2E の合成ペプチド

**背景**

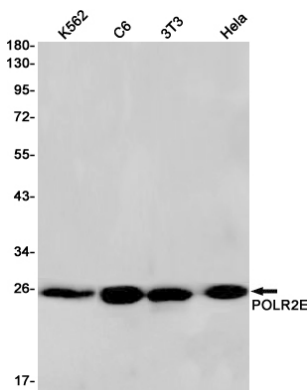
DNA 依存性 RNA ポリメラーゼは、4つのリボヌクレオシド三リン酸を基質として、DNA から RNA への転写を触媒します。RNA ポ

リメラーゼ I、II、III の共通構成要素であり、それぞれリボソーム RNA 前駆体、mRNA 前駆体、多くの機能性非コード RNA、そして 5S rRNA や tRNA などの低分子 RNA を合成します。Pol II は、基本的な RNA ポリメラーゼ II 転写機構の中心的な構成要素です。Pol は、互いに相対的に移動する可動性要素で構成されています。Pol II において、POLR2E/RPB5 は中央の大きな溝を囲む下顎の一部であり、入ってくる DNA テンプレートを捕捉すると考えられています。このプロセスにおける主要な構成要素であると考えられます。

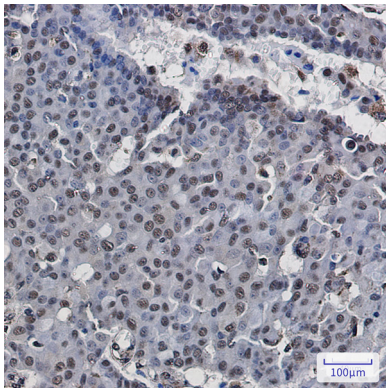
## 研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

## 画像データ



RNA ポリメラーゼ I/II/III サブユニット ABC1 抗体を使用した、K562、C6、3T3、Hela ライセート中の POLR2E のウエスタンブロット分析。



POLR2E 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。